

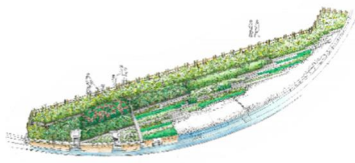


令和 7 年 6 月 25 日
総合政策局環境政策課

「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体を決定しました ～グリーンインフラの実装に取り組む地方公共団体を支援～

地域でのグリーンインフラの活用を推進するために、地方公共団体による構想・計画の策定、効果の見える化や新技術・DX 活用の検討、地域における連携体制の構築等の支援を行います。

○ 重点支援団体（北から順）

団体名	取組概要
秩父市 (埼玉県)	秩父市が源流となる荒川流域において、流域連携によるグリーンインフラの整備効果・意義の分析や Well-being の評価実証等を行い、想定される事業効果の体系化に取り組むとともに、資金調達のスキーム構築を目指した調査・検討、広域的な体制構築に向けたアクションプランの作成を目指す。  荒川の源流
静岡市 (静岡県)	谷津山という地域に身近な自然環境の持続的な保全・活用のため、資金調達手法や活用可能な予算制度に関する調査・検討を進める。 谷津山の里山林が持つ環境価値の見える化やモニタリング、放任竹林対策の効果等について、指標設定や把握手法の検討に取り組む。  谷津山での放任竹林対策活動
名古屋市 (愛知県)	名古屋市では「名古屋市総合計画 2028」に「グリーンインフラの取り組みによる自然共生社会の実現」を掲げており、グリーンインフラ導入の基本的な考え方や効果的な取組事例などを示すガイドラインの策定に向けて、有識者からの情報提供・助言を得て検討を行う。  グリーンインフラの試験整備予定（雨庭）

○ 別紙

令和 7 年度先導的グリーンインフラモデル形成支援 概要

○ 参考

＜グリーンインフラ官民連携プラットフォーム HP(外部リンク)＞ <https://gi-platform.com/archive/support>

＜問い合わせ先＞

総合政策局環境政策課 高森、鎌田、瓜生

TEL : 03-5253-8111（内線 24422、24332）、03-5253-8262（直通）